

五省会ニュース

発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能 正一郎

西能院長に厚生大臣賞

西能病院 二年連続の栄誉

西能病院院長、西能正一郎氏が、日本病院会会場で病院事業の発展向上に努めた功績に対し、五月二十九日、厚生大臣表彰を受賞した。西能病院では昨年十月、集団給食部門で厚生大臣賞を受けており、二年連続の栄誉である。

病院事業発展に尽力

日本病院会に所属して

社団法人、日本病院会（諸橋芳夫会長）の創立三十三周年記念式は、五月二十九日、東京都千代田区内幸町、帝国ホテルで開かれた。この席上、公的病院関係者五人、私的病院関係者二十五人の計三十人が厚生大臣表彰を受けた。日本病院会に所属し、十年以上、病院団体に貢献して、関係者の尽力で着実に発展の一途を

歩行訓練に汗

さつき晴れの五月十八日は西能病院の屋外歩行訓練。参加者は若葉、青葉の下で汗を流した。入院患者を対象に、毎週金曜日の午後二時から三時ごろまで、県営球場を中心にして行なっている。（写真は球場横の一本杉の下でひと息入れる参加者たち）



六人全員が合格

五十九年春の看護婦国家試験合格者が四月二十三日発表、西能病院の受験者六人全員が合格した。お祝いの昼食会が同日、西能院長、中島総務部長、山本看護部長も出席して小ホールで開かれた。（写真右から服部真知子、吉崎秋子、早崎智美、一島洋美、松田伊佐子。新川弘美は県立総合衛生学院助産学科進学で不在（敬称略））



新人八人の紹介

西能病院の開院二十二周年記念式が行われた三月二十一日、新採用の新人八人（写真）の紹介があった。これより先の父兄を交えた懇談会で、西能院長は、「自分から進んで使命感を持った看護婦になるよう努力してほしい」と激励した。



あすなろ

街角の薬局のウィンドー、禁句七題のポスターが目にとまっていた。いわく、抜けた、つるつる、夏すだれ、やかん、すべった、まぶしい、上野毛」とある。育毛、養毛の宣伝。この「毛」で苦い経験をしたことがある。同僚に「つるつるになつたなあ」と、軽い冗談を飛ばしたつもりが、相手には屈辱の禁句だったわけ、三日間ばかりおかんわり▼これは人ごとではない。わが身にもあてはまる。「顔がブクブクだぜ」と、いわれるとついふさぎこむ。お世辞でも「なかなか顔色がいいね」の聲がかかると、気分爽快。人間、万事がお互いに、ほめ合っておれば、めでたし、めでたしである。▼さて、病（や）める人たちに接する看護婦さんには強い使命感が第一条件。今春、高校を卒業、西能病院に就職した八人は寮生活。午前中は病院で看護助手、午後から看護専門学校に通っている。働ながら学ぶ彼女たちにも容しやなく厳しい声がかかる。「いやいやなら、やめなさい」院長「朝食をしっかりと食べないと、いい仕事はできない」（山本看護部長）

生きていくしるし

西能 正一郎

昭和五十六年に行われた国際障害者年は、たった一年間のキャンペーンでありました。一年間だけの祭り騒ぎであってはならない、この活動を足がかりに、より地に足のついた運動を展開しよう、多くの識者が自分なりに聞かせながら幕の引かれるのを見送ったはずであります。それからすでに二年の歳月が流れました。

本当の意味の社会参加を

'81国際障害者年から二年経過して

'81国際障害者年は「完全参加と平等」のスローガンの下に、全ての障害を持つ人達と、それを取り巻く社会の人達に呼びかけられ、人間として平等であるという基本的な思想の下に障害者という壁を取り払おうとする運動でありました。障害者と一般人との交歓の場が次々と企画され、又、公共的な施設を始めとして障害を持つ人達に対するきめ細かい様々の配慮が行われるようになり、街では車椅子を見かけることが多くなりま

した。車椅子の人のマラソン参加や、立山登山、本紙のチャリピオン松下英勝君の二回にわたる単独旅行などは、以前にはどうも考え難い出来事であった。快挙であり国際障害者年の大きな成功物語るものであります。前にも書きましたが、私は富山県の車椅子の会の諸君と親しくおつきあいをしております。障害者自身の社会に入りこんでゆくという積極性が出てきたことや、社会が仲間として取り込もうとする前向きな姿が見られるようになった、状況の変化がかなりはつきり窺えるのであります。未だ色々な事情で固く扉を閉じて、かたくなに孤独を守り通している人も居ますし、社会参加しようにも、とうてい出来ない高度の障害の方もあります。が、やがては仲間同志の助けを借りあひあひの中からもっとと社会に飛び込んでくる人達が増えてくるものと期待しています。国際障害者年の活動はあきらかに障害者の窓を開

く報せねばならないほどまれなことであると考えられます。全国に数多い障害を持つ諸君の殆んどは、自分の生命を社会の中で生かすという本当の意味の社会参加から見放されて、今日も戸外をウロウロしているのではないのでしょうか。松下君は仲間と共に箸の袋詰め作業に汗を流した。その手間で玉を買って作業出来なかった仲間配ったという。しかし彼はそれでも、このままで良いのか疑問を抱きつつ生きています。

医療法人 西能病院の診療体制

一般受付時間（日曜・祭日は休診）

●年中無休・24時間受付の診療体制を敷いております。●救急車（2台）は、要請により出動致します。

診療科目	曜日	午前	午後
整形外科	月～土	8:30～12:00	16:00～19:00
リハビリテーション科	月～土	8:30～12:00	13:30～19:00
内科	月～土	8:30～12:00	
鍼灸	月～土	8:30～12:00	13:30～17:00
形成外科	毎月1回	8:30～12:00（診察日は受付でおたずねください）	

大地を踏む

射水郡下村三ヶ

田中 巳代治さん(五四)



上達した手指の作業をして見せる田中さん

頸髄損傷で右手足が不自由な田中さんは、五時の早起きだ。草むしりをする、ほうきを手にする。妻と長男夫婦の三人を勤めに送り出したあとは、八十歳の元氣な母親と二人で留守番。午前中は、手指の運動になる作業をみっちり。

午後から「自転車散歩」が楽しみ。一つである。そして、テレビドラマに泣き笑い、プロ野球に熱中する。大の巨人ファンである。

私たちが取

夕飯のコメをといで感謝の念

材に訪れたときも、田植えしたばかりの、のどかな田園風景の舗装道路で自転車の田中さんと、ばつたり出合った。「家がわからん思うて迎えにきたちや」と、ニコニコ顔。荷台には近所で貰ったばかりの山ウドが...

田中さんが転倒して切

西能病院には五十七年一月十六日に入院した。このときは、両手足に疼痛が走り、眠れない程だった。歩くのもやっとで立ち上がりや玄関の登り降りにもひと苦労した。

毎日毎日、朝早くから「ぶらさがり」や、歩行訓練などを一生懸命につ

たのも皆さんのおかげだと感謝しております。あきらめた薬の夢をみます。今は何よりも早く孫の顔がみたいですね。お守りが楽しみです。東京にいる次男も近く結婚します。わしが民謡好きなんので、カラオケ一式を送ってました。みんなよくしてくれまして、それで、私も、みんなが帰ってくるまで夕飯のコメをといでおくんです。感謝の念をこめてね。

田中さんは黒タビをはいていた。手足の痛みを少しでもやわらげるのに効果があるからだという。そんな苦しみを乗り越えた顔だった。

私は、看護婦として、いい仕事をするには、患者さんとの信頼関係が一番大事だと思うので私は人から信頼される看護婦になりたいと思います。

でも信頼されたいと言っても、患者さんに対して、やさしさだけにかたよった看病をして信頼をもらうことは避けなければならぬと思っております。

患者さんの物が床に落ちたとき、それを自分で拾える患者さんかどうか見極めて、その人に合う対処のできる看護婦になりたいと思います。(石井直美)

こんな看護婦になりたい 西能病院

今春、富山県内の高校を卒業、西能病院に就職して、富山市医師会看護専門学校、看護学科(二年制)に通学している八人から「こんな看護婦になりたい」を聞いてみました。

偽りのない天使に

優しい笑顔の看護婦になりたい。偽りのない、白衣の天使でいたい。どこまでも、患者さんの立場になって考え、接していきたい。それで、公私の区別の出来る看護婦は立派だと思ふ。

今は、一瞬一瞬がとて大切で、一歩も引かない気持ちで、日々、勉強している。一日も早く、看護婦として一人前の仕事が出来、お役に立てる自分に成長したい。今はその日を夢みてがんばっていく決意です。(黒畑喜美子)

悩みごとの相談にも

看護婦になろうと心ざした時に、初めに思ったことは、信頼される、やさしい看護婦さんになりたいと思ひました。

患者さんを看病していく中で、やさしさは大切だと思ふけど、やさしいだけでは、決して良い看護婦であるとは言えないと思ふ。

患者さんが悩んでいる問題の少しでも私が相談にのつてあげることができて患者さんが少しでも楽になれるのならそれだけでも良いと思ふ。(山崎真由美)

安らぎと勇気を

私は患者さんに信頼してもらえ看護婦になりました。安心してゆっくり体を直してもらえよう看護婦になりたい。心の弱っている患者さんの心を少しでもやすらげ生きたる勇気みたいなものをもつてもらえるようになれたらとてもうれしい。

特にお年寄りの人によるこんでもらえようという思いです。(小沢優子)

優しく明るい笑顔で

もしも私が病気になる看護婦になったら立場に立つたら、こんな看護婦さんに看病してもらいたいんです。

① 優しく明るく笑顔の似合う人。
② 親しみやすいけど礼儀はしっかりしている人。
③ 異変が起こればあわてず処置できる人。
④ 優しいのは当然だけど明るい方が気分がいいし、親しみやすいと何とも言えるので病気が直るが早いからです。この気持ちにはどんな患者さんも持っているのではないのでしょうか。私は患者さんの気持ちになつて働きたいと思ひます。(村上和子)

自分の行動に責任を

私は第一にやはり患者さんから好かれて、たよりにされるような看護婦になりたいです。

やっぱり病気になるのが弱くなつて神経質になりやすく軽い病気の人も自分では死ぬんじやないかと思つたりします。だから少しでもその気持ちが軽くなるようにいつも笑顔で接して安らぎをあたえれるような看護婦になりたいです。

第二に、どんな時にも落ちついて自分の行動に責任をもてるような自分に厳しい人になりたいです。(吉田早苗)

美しいものが 見えてきた

〈第二十信〉

松下 英 勝

皆さまには、お変わりありませんか。自分は元氣すぎて、元来の熱い血が体の中を激しく流れ、それを抑えるのに.....

さて、「わたぼうしコンサート」の当日、会場でバザーをするので、自分で、自分はビーズの刺しゅう作りに専念しようとしたのですが.....

昔、十二年間、ぐらいい世話になり、苦勞させた女性(八年前、自分の受傷二年ぐらいい前に別れた)が、風の噂で、とつても不幸な生活をしていると聞いていたのです。三年前でした。その当時、自分は「みすず荘」で、身の回りのこともできずにいたため、心で詫びながら、「幸福になれ」と念じていました。

今年に入ってから、妹の計らいで、その女性の

心のうさを砂丘に埋める

二度と掘り起せないように

自分の女々しき、男の未練等々、ずいぶん苦しく、とつても感傷的になりました。ついには日ごろのストレス、フラッシュバック、淋しさを、その重圧に押しつぶされそうになり、悲鳴をあげそうになりました。フロイト(オーストリ

ア、その「心」のうさ、女々しさを、未知の知らない土地で捨て去ろう、それは鳥取の砂丘に埋めようと考えました。砂丘ならば、埋めた場所が風紋でわからなくしてくれ。今日までの哀しみなどを二度と掘り起こすこともないでしょう。

そして、一人ぼっちの車椅子で山陰への旅を決

行きました。(その旅の詳細は、久し振りに元氣な声でカセットに吹きこみました)

リハビリに専念し、社会復帰が可能となり、体力がよくなりました。しかし、何も無いことが訓練のむなしさを、そして色々の苦惱も増す思いがします。そんなことが、愚痴や泣き事と思われはしただけです。

院長先生、暗い便りですみません。明日からは底抜けの明るさが戻るはず。新しい心で頑張ります。

最後は、いつも人の温(ぬく)もりで生きていくことを自覚し、穴があったら入りたいと赤面している松山下。 (姫路市打越一〇〇、重度身体障害者授産施設、愛光園)

歌でハンディを持つ人たちの心を伝える「わたぼうしコンサート」は、愛光園の主催で、この程、姫路市文化センター大ホールで開かれました。